

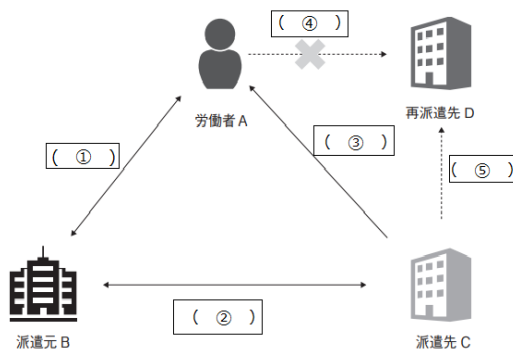
人材ソリューションアドバイザー検定試験サンプル問題

(解答は最終ページ)

【問題1】人材ソリューションの担い手としての地域金融機関への期待に関する以下の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 地域の経済・社会が様々な課題に直面する中で、地域企業を側面支援する地域金融機関への期待は高まっている。
- (2) 「ヒト」の面からの支援は、事業拡大や事業転換、ECを通じた販路拡大、DXの推進などに関する人材紹介が想定されているが、事業承継に関する人材紹介は自社株の贈与等で複雑な税金対策が必要であるため、積極的に行うべきではない。
- (3) 人材ソリューションのうち、金融機関が有料職業紹介の許可を取得して実行できるのは、求人企業側の対応のみを行ういわゆる「片手型」だけであり、金融機関が人材要件の定義から求職者側の対応までを行ういわゆる「両手型」の実行は、利益相反のおそれがあるために禁止されている。
- (4) 「先導的人材マッチング事業」は、地域金融機関等が地域経済活性化支援機構(REVIC)と連携して行う人材マッチング事業を支援する補助事業である。

【問題2】下記の二重派遣の概念図の空欄①～⑤に当てはまる語句の組合せに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。



- (1) ①雇用関係 ②派遣契約 ③指揮命令 ④労務提供 ⑤再派遣
- (2) ①派遣契約 ②労務提供 ③雇用関係 ④指揮命令 ⑤再派遣
- (3) ①派遣契約 ②労務提供 ③雇用関係 ④再派遣 ⑤指揮命令
- (4) ①雇用関係 ②指揮命令 ③労務提供 ④再派遣 ⑤派遣契約

＜事例＞内部管理等の組織管理体制の構築に関する次の事例に関して、以下の【問題3】【問題4】について、解答しなさい。

①事例企業の概要

業種：水産食料品製造業F社

資本金：2,000万円

従業員数：約200名（パート含む）

売上高：約60億円

事業内容：ホタテ・カニ・イクラを主原料とし、一次加工を施したのちに全国の市場及び商社、飲食店などへ販売を行っている水産食料品製造会社。創業者から40代の子息へ事業承継を終え、さらなる事業成長を図るために意欲的な事業展開を図っている。

②事業の内容・経営課題

水産食料品メーカーは年度の漁獲高によってマーケットが大きく変動する比較的不安定な業態と言える。F社が取扱う原料のうち、ホタテは養殖が進み他の魚種に比べてマーケットは安定していると言えるが、カニやイクラは近年の水産資源環境の変化から、漁獲高は不安定な状況が続いている。

そのような業界特殊性がありながらも、F社においては毎年度50～70億円の売上を確保し、過去10年全期間で黒字を確保している優良企業である。海外や前浜からの強固な仕入ルートを確立しており、漁獲高による価格の乱高下も販売先へ適時転嫁し、安定的な業績を継続している。

一方で、人材採用と人材教育には課題を抱えている。業種柄、工場には多数の労働者が必要であり、かつ不人気業種でもある。少子高齢化の影響により地盤とする地域の労働力の減少も顕著。また、先代経営者と同世代の経営幹部が抜けた穴を埋めるため、現経営者と同年代の幹部社員の早期育成が急務となっている。

【問題3】＜事例＞について、F社が必要とする人材要件に関する以下の記述のうち、最も不適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 人事制度の企画設計のノウハウがある人材。
- (2) 有期の支援を担ってくれる人材。
- (3) 従業員200人内外の会社の支援実績があること。
- (4) 再生領域のコンサルティング実務の経験がある人材。

【問題4】 <事例>について、F社が必要とする人材ソリューションの成功のポイントに関する以下の記述のうち、最も不適切なものを1つ選びなさい。

- (1) 社内の経営幹部を巻き込みながら人事制度を再構築するプロセスの履行、運用後の形骸化させない仕組みづくり、運用開始予定日までにプロジェクトを終了させることが重要である。
- (2) 事業会社における人事部経験を有し、フリーランスのコンサルタントとして有期のプロジェクトを多数支援している手腕を持つ人物に依頼することは有用である。
- (3) 期限までに人事制度の構築が成されない場合、プラス1年程度の継続支援（無償）の実施が必要となる。
- (4) F社の経営幹部を巻き込み続けて人事制度の再構築を図る。

解答

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4
(1)	(1)	(4)	(3)